

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>様々なつながりを大切にし、一人一人のよさが輝く学校にします。</p> <p>○学ぶことの楽しさを味わい、失敗を恐れず、チャレンジすることができる学びを創ります。</p> <p>○自他の違いを認め、尊重し合い、助け合うことのできる関係づくりをします。</p> <p>○様々なひと・もの・ことと豊かに関わり、思いを語り合える子どもを育てます。</p>

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<p>①たてわり活動を通して望ましい人間関係の構築を図る。また、高学年（特に6年）の自己有用感を育てる。②誰もが安心して過ごせるよう、人権の視点を意識した学級目標を全体で共有しながら、安心を基盤に自分らしさが発揮できる学校にしていく。③永田中ブロックで取り組んでいる「あいさつ運動」をさらに充実させる。</p>
担当	C(人権・福祉)部会

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

教師と子どもの信頼関係を根幹によりよい人間関係づくりを進めてきた。子ども同士にもあたたかな関わりの姿を見られるようになってきたが、「多様性」を認める「寛容」な心には課題が見られる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

道徳科の授業では、道徳科の年間指導計画に基づき、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。道徳科で培った力を全体計画に明記した各教科・領域の視点をもってさらに伸ばしていく。

【項目 たてわり活動】本校の特色ある教育活動のひとつであり、多様性を尊重する態度を育てる場である。年数回行い、6年生がリーダーとしての意識や下の学年への思いやりの気持ち、下の学年の児童は上級生へのあこがれや今後の活動への期待をもって、意欲的に取り組む姿を期待する。

【項目 あいさつ運動】児童運営委員会が中心となり、永田中の生徒会と連携して行う。毎日委員会の児童が2つの門に分かれて立ち、ハイタッチをして登校する全校児童にあいさつをする。週に一度永田中の生徒会役員と一緒に活動する。

【項目 なかよし（人権）集会】

年間3回の集会（ブロック集会2回、全校集会1回）を行い、各学年の発達段階に応じた人権感覚と誰もが安心して過ごすことができる永田台小を創り上げようとする意欲をもたせる。各学級の目標と人権の視点を関連させる支援をする。